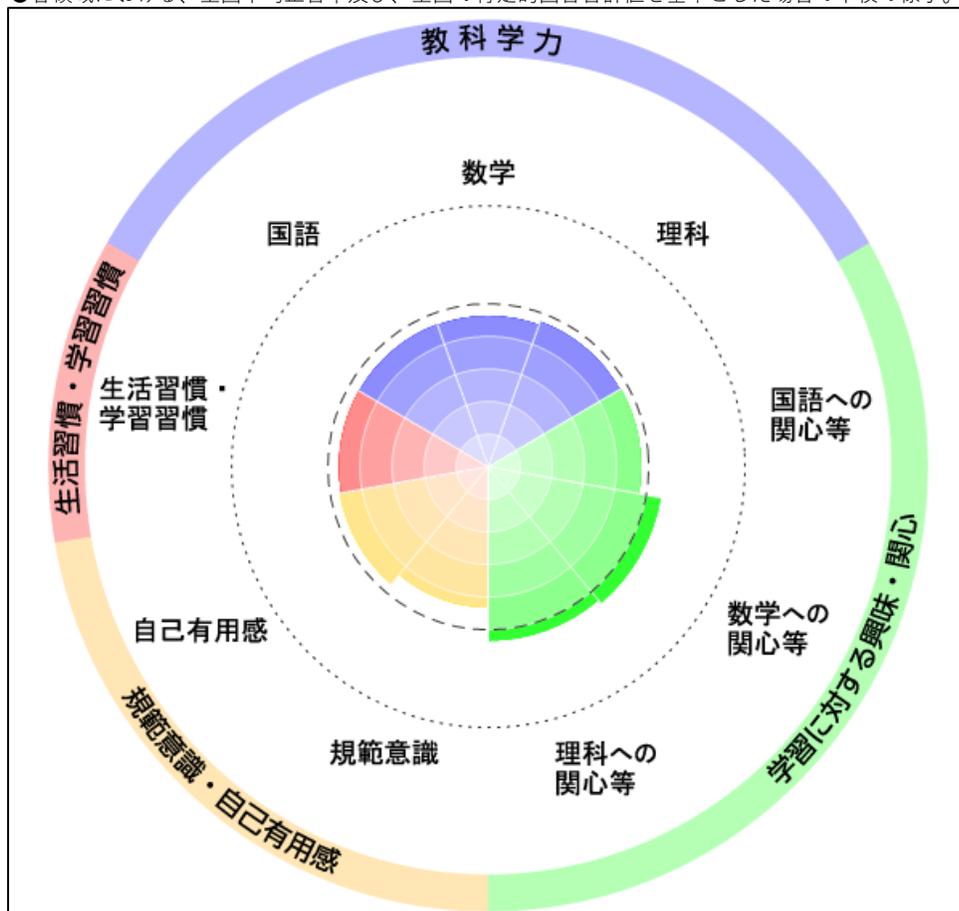


## 令和4年度全国学力・学習状況調査結果における課題分析表（中学校）

### 江戸川区立清新第二中学校

●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の本校の様子。



#### <チャートの特徴>

教科学力においては3教科すべてで全国平均を下回る結果となった。また、意識調査においても、規範意識をはじめとする多くの観点において全国平均を下回る結果となったが、数学・理科に対する理系教科への関心については、全国平均を上回る結果となった。

#### <現状把握>

学校生活に前向きな生徒が多く、行事にも積極的に関わろうとする態度が見られる。また、学習面においても学習内容に興味を持ち、落ち着いて授業を受けようとする生徒が多いことが特徴ではあるが、それに反して学力の定着が伴っていないのが現状である。学力調査の結果を見ると、高得点層がいるものの、中間層の生徒が少なく、その分低得点層が多いという分布になっている。そのため、学力の底上げを図った授業の工夫や、家庭学習の方法の見直しを行うことが今後の課題である。

#### <指導改善のポイント>

- 1 授業の工夫
  - (1) グループによる話し合い活動を取り入れた、対話的な授業実践
  - (2) 課題解決学習を取り入れた、主体的な授業実践
  - (3) 基本事項を主とした振り返りの時間の導入
- 2 家庭学習の推進
  - (1) 家庭学習計画の指導と実践記録のチェックの強化

#### <家庭への働きかけ>

生徒のよりよい生活を維持するには家庭と学校の協力が不可欠である。そのため、家庭での学習環境の見直しや健康的な生活習慣の支援など、学習面・生活面ともに生徒の良好な生活環境をつくる上での賛助をお願いする。